

「社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座」アンケート

年月日 (2014 年 月 日)

記入者： _____、所属： _____

連絡先： E-mail： _____， 電話 _____

ヒアリング担当 (はい・いいえ)

[ハザードマップ]

1.1 あなたの地域のハザードマップについて、知っている項目に✓印を付けてください。

地震動 津波 地震火災 河川氾濫 内水氾濫 液状化 土砂災害

高潮 その他 (_____)

1.2 ハザードマップの情報は正しいと思いますか。(はい・いいえ)

1.3 ハザードマップの活用方法について、意見があれば具体的に述べてください。

[洪水被害について]

2.1 あなたの地域の過去の洪水被災地を知っていますか。(はい・いいえ)

2.1.1 「はい」の方：洪水被災地を教えてください。(_____)

2.2 洪水災害時の避難場所を知っていますか(はい・いいえ)

2.3 事前の雨量情報の入手方法を知っていますか。(はい・いいえ)

2.4 豪雨時の避難情報発令の基準を知っていますか。(はい・いいえ)

2.5 垂直避難の意味を知っていますか。(はい・いいえ)

[土砂災害について]

3.1 あなたの地域の土砂災害危被災地を知っていますか。(はい・いいえ)

3.1.1 「はい」の方：土砂災害被災地を教えてください。

(_____)

3.2 土砂災害から命を守るためにはどのような対策が必要であると考えていますか。

[地震発生時の対処]

- 4.1 地震動に対して橋梁の安全度を評価する方法を知っていますか。(はい・いいえ)
- 4.2 地震動に対して家屋の耐震性を高める方法を知っていますか。(はい・いいえ)
- 4.3 非構造部分の耐震性の意味を知っていますか。(はい・いいえ)
- 4.4 緊急地震速報発令の仕組みを知っていますか。(はい・いいえ)

[津波災害について]

- 5.1 あなたの地域は、津波の被害が想定されていますか。(はい・いいえ)
「はい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください。
 - 5.1.1 愛媛県の南海トラフ巨大地震被害想定による津波高・到達時間を知っていますか。
(はい・いいえ)
 - 5.1.2 あなたの地域の津波被害対策を知っていますか。(はい・いいえ)
 - 5.1.3 あなたの地域の津波避難経路・避難場所は安全だと思いますか。(はい・いいえ)

[歴史的建造物について]

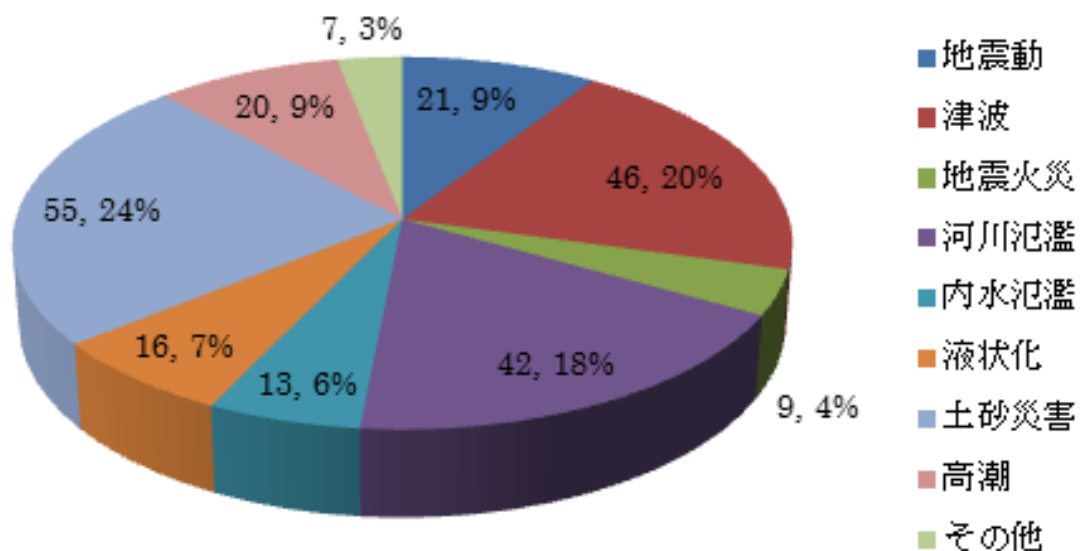
- 6.1 あなたの地域には、歴史的建造物がありますか。(はい・いいえ)
「はい」と答えた方のみ、以下の質問にお答えください。
 - 6.1.1 歴史的建造物を教えてください。()
 - 6.1.2 歴史的建造物の維持・管理を行っていますか。(はい・いいえ)
 - 6.1.3 歴史的建造物が地域にあることによる意義について述べてください。

愛媛大学社会連携機構内 愛媛大学防災情報研究センター
〒790-8577 松山市文京町 3
電話：089-927-9021, FAX 089-927-8820 (担当：廣田・泉)

平成 26 年 9 月 8 日

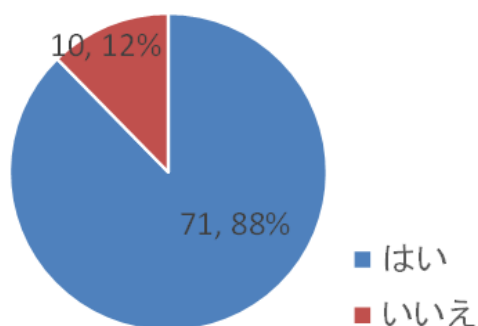
愛媛大学 ME 事前アンケート結果についての考察

1.1 あなたの地域のハザードマップについて、知っている項目に☑をつけて下さい。
(複数回答)



土砂災害が 24%と最も高く、つぎに津波(20%)、河川氾濫(18%)と内水氾濫を足すと 40%以上を示している。その他に挙げている項目についても 5%以上の値を示している。その他では、ため池と答えている項目がほとんどであった。今後、アンケート項目として取り上げる必要がある。以上より、様々な災害のハザードマップを知っていると考えられる。

1.2 ハザードマップの情報は正しいと思いますか。



70%の回答者が正しいと考えている。

1.3 ハザードマップの活用方法について、意見があれば具体的に述べて下さい。

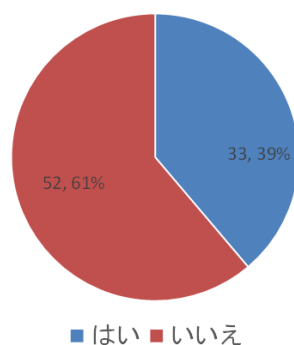
- ・過去の被災履歴を参考に、日頃より危険と思われる場所を把握し家族と情報を共有する。
- ・身を守るためのツール。
- ・高松市での高潮被害の経験から、自宅購入の際、場所を決めるのにハザードマップを活用し、各被害の少ないであろう箇所とした。訓練だけではなく、不動産等民間分野でも積極的活用を推進し、より身近に感じられるものとしたほうがよい。
- ・対象地区には、定期的な周知、配布が必要と考える。
- ・想定条件を理解していないと、危険なものになる（安全だと思っていたものが、条件により違う結果も出る）。
- ・地域住民との共通認識を持つためのツール
- ・住民への周知・啓発活動が足りない。・住民自身も災害に対する危機意識が足りない。
- ・学校で地域のハザードマップの見方・活用方法等を授業で説明したり、外に出て、オリジナルの防災マップ（ハザードマップ）の作成を行う。
- ・より周知を図るため、公園・公民館・ショッピングセンター・公共施設などに地域周辺のハザードマップを掲載してはどうか。
- ・松山市→まつやま防災マップを全戸配布している。→ 周知できているか不安
- ・せっかく作成しているので、マップを利用して、災害時の心構えを含め、住民への周知を十分に行わなければならない。
- ・住民の方々がよく目にする場所に置くことはもちろん、配布したり、地元で講習会を開いて周知していくことが大切だと思う。
- ・不動産業者が宅地の売買に使用する目的で浸水域の問い合わせがあります。特に新居浜市ではH16に台風災害で被害を受けた住民が多くいるので、10年経った今でも言っています。
- ・いつも目につくところにはって、意識づけしておくことが大切。
- ・避難時の避難方法（徒歩、車、避難場所等）や避難のタイミングの検討に用いたい。
- ・種別毎のハザードマップを併せて総合防災マップとして活用する
- ・ハザードマップがありすぎて、住民には分かりづらいと思います。総合的なものが分かりやすい。
- ・ハザードマップの活用については、災害発生時を想定した避難訓練に有効です。災害発生時には、ハザードマップを見て考える時間がなかったり、災害発生時には居住地域にいないことが想定されますので、スマホなどのモバイルで情報を取得出来るように整備する必要があり、アプリとして開発しておくことが有効です。
- ・1枚のマップで完結するものが有れば良いと思う。（内容が複雑すぎて解りにくくなる可能性が大きいのか？）
- ・とにかく緊急時にすぐに活用できまた日常においても見やすい場所に表示できるのがあればよい。
- ・火災が発生した場合どの種類の災害にどこに避難するかを確認し、移動する目安とする。
- ・とにかく住民への周知が重要。住民の手元に有り、常日頃から防災意識を持って、避難に備えていただきたいと考えている。

- ・地域の自治区や自治会等での利用
- ・住民の方への周知
- ・古いマップで現在は回答しているが、今年度ハザードマップが作成されそのマップには津波の浸水地域も記載されています。
- ・災害は構築物だけで防ぐ事は出来ないの、一般市民も減災の意識を持ち、逃げる事への備えが必要と思われ、これにハザードマップを有効に活用するスキーム造りが重要と考えられる。なお、自治体によってはインターネットに公表されているハザードマップが不鮮明なものも見られ、防災への意識を含め改善が必要と思われる。
- ・ハザードマップにより、地域全体の危険箇所や避難所を確認できる。当マップを活用して、地域ごとに事象に応じた避難の判断やルートの選定等を打合せて、より高い安全性を追求する必要がある。
- ・不動産（宅地・住家等）を購入する場合の場所選定。・防災意識の向上及び具体的な避難等防災対策の立案。
- ・知らない人が多く、もう少し周知をした方が良い。
- ・一般市民の人たちの多くは、ハザードマップを知らない人が多いと思います。もっと周知することが大切だと思います。
- ・一般住民への周知をもっと徹底すること。また、その方法を議論する必要があるのではないか
- ・防火訓練を行う際にハザードマップの何を対象に訓練・避難することに活用できるようにするべきと考える。何でもとにかく決められた避難場所へ避難するのはナンセンスと思う。避難経路の安全性についても明記すべきである。
- ・各今人への周知ができているかどうか。今のマップは、パソコン上でとりあえず作業したものと認識している。（更新もされていない。）地域の人のお話（被災履歴、対応、その他）を入れた、生きたマップを作成すべき。（中学生くらいに作ってもらおうとすばらしいものができ、これから街を担う人に知識が入る。←5年以内に更新すべき）
- ・居住地の選択。避難路、避難場所の選択。

○全体のとりまとめ

周知徹底と、普段からの備え、訓練への活用が必要であると考えている人が多い。

2.1 あなたの地域の過去の洪水被災地を知っていますか。

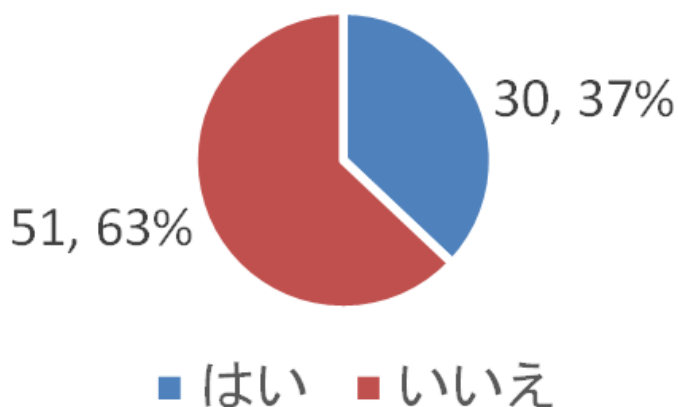


6割が知らないと答えている。

2.1.1 「はい」の方：洪水被災地を教えてください。

高松市福岡町／大洲市（肱川）／今治市祇園町 3 丁目外／八幡浜市保内町川之石／楠崎 1 丁目／新居浜市新田、久保田、松神子／H16 年 飯岡、早川／新川（喜多台）／東大洲、徳森、柚木、西大洲、菅田／東大洲・西大洲地区 HM にも記載されている／肱川流域、菅田、東大洲 外／宮川（川之江）、海岸寺川（三島）／市全体として、河川沿線、海岸隣接地域／久万町内／重信川／川中・麻生・高尾田／大瀬成屋、中田渡早瀬／小田上川、豊谷、寺村、成屋／平成地区、大瀬成屋地区／延野々地区／興野々／愛南町役場周辺の僧都川河口／香川県丸亀市土器川周辺／台風 23 号による被害／さぬき市造田地区／松山市市坪／R194 号西条 H16 台風災害／中川…今治市伯方町／内子町大瀬／

3.1 あなたの地域の土砂危険被災地を知っていますか。

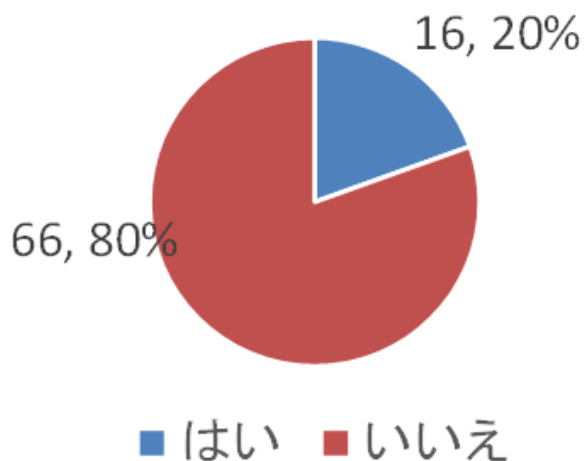


63%が知らないと回答している。

3.1.1 「はい」の方：土砂災害被災地を教えてください。

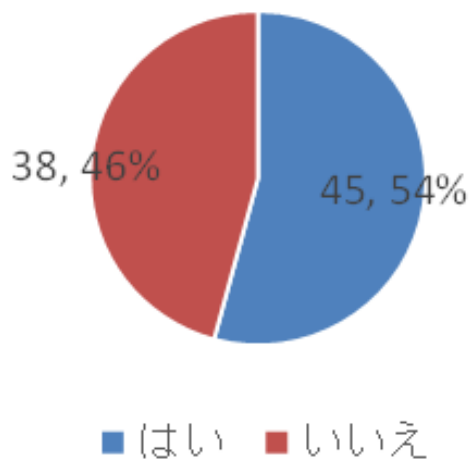
上伊台町、高野町／八幡浜市栗野浦／南裏／大生院、立川町／新居浜市郷地区、大生院、楠崎／H16 年 飯岡、早川／加茂川上流部／大保木／市内各所に点在／四国中央市土居町入野・北野等／河川沿線／土谷、本谷／土谷、本谷／土谷、本谷／弓削土生地区、魚島地区／弓削土生地区、魚島地区／柳谷地区／砥部町一円／臼杵大込、大瀬東石積／臼杵、影浦、川登／目黒、上家地／各地区二小災害はある。生田／裏山／台風 23 号 高松市新田町／さぬき市昭和地区／内子町内各所／松山市上高野地区で土石流発生／北条

4.1 地震動に対して橋梁の安全度を評価する方法を知っていますか。



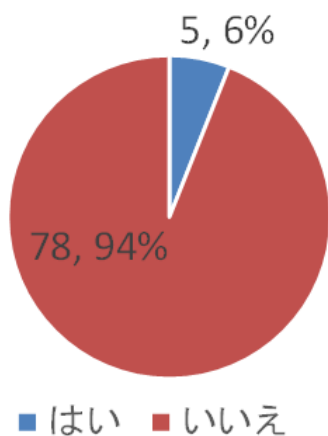
80%が知らないと回答している。

4.2 地震動に対して家屋の耐震性を高める方法を知っていますか。



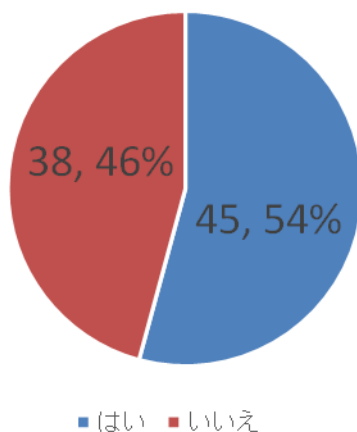
46%が知らないと回答している。

4.3 非構造部分の耐震性の意味を知っていますか。



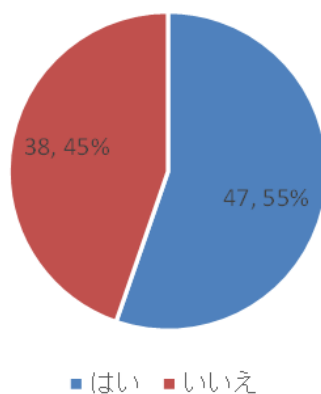
94%が知らないと回答している。

4.4 緊急地震速報発令の仕組みを知っていますか。



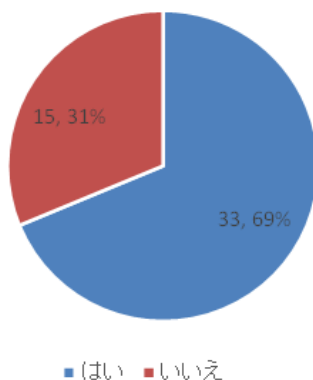
54%が知っているとして回答している。

5.1 あなたの地域は津波の被害が想定されていますか。



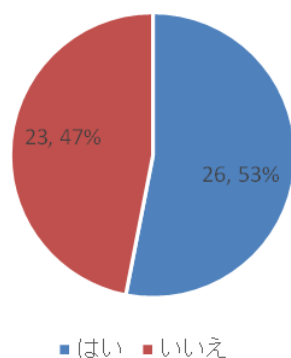
解答者の 55%が津波被害想定区域である。

5.1.1 愛媛県の南海トラフ巨大地震被害想定による津波高・到達時間を知っていますか。



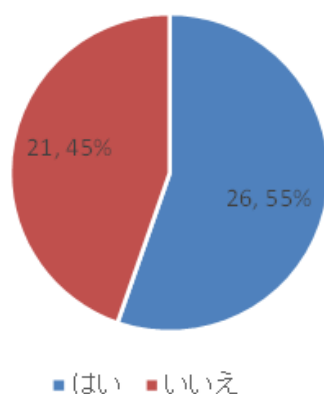
解答者の 69%が県の津波高・到達時間を知っている。

5.1.2 あなたの地域の津波被害対策知っていますか。



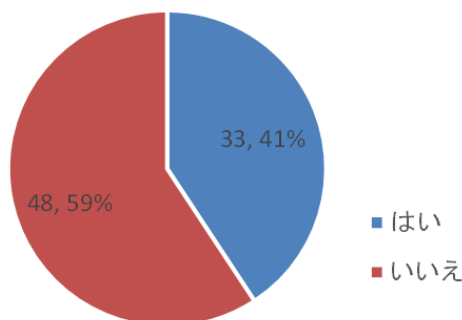
解答者の 53%が津波避難対策を知っている。

5.1.3 あなたの地域の津波避難経路・避難場所は安全だと思いますか。



解答者の 55%が安全だと思っている。

6.1 あなたの地域には、歴史的建造物がありますか。



59%の回答者が無いと答えている。

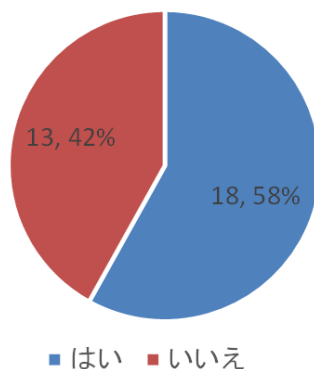
6.1.1 歴史的建造物を教えて下さい。

回答に重複あり。

大洲城関連、臥龍山荘／松山城／松山城／今治城／明治橋、日土小学校／明治橋／愛媛蚕種／東平貯鋳庫跡、広瀬歴史記念館／新居浜市東平地区／別子銅山跡（東平）、新居浜選鋳場（星越）／西山興隆寺本堂／県指定文化財：財稻荷神社楼門 市指定文化財：谷上山宝珠

寺本堂、萬安港旧灯台、三島神社の二重門、牛の峰地蔵尊石葺き屋根、翠小学校校舎／松風橋／レンガ造りの道路橋 松風橋／除ヶの堰堤／除ヶの堰堤／除ヶの堰堤／定光寺／岩城郷土館「旧島本陣 三浦邸」／定光寺観音堂、祥雲寺観音堂、各寺院／大宝寺とか岩屋寺は？仰面梁／神社仏閣／壺岩寺の厨子および須弥壇／八日市、護国地区町並み／内子座、まちなみ／石積・棧橋／目黒ふるさと館、芝不器男記念館／観自在寺／観自在寺／豊稔池ダム（香川県観音寺市）／神社、囲構等／内子町護国伝統的建造物群保存地区／松山城、道後温泉本館／

6. 1. 2 歴史的建造物の維持・管理を行っていますか。



58%が行っていると回答している。

6. 1. 3 歴史的建造物が地域にあることによる意義について述べてください。

- ・観光地としての財産だと思う。観光客招致に必要な物となってくる。
 - ・松山市の財産であり、シンボリックな建造物である。
 - ・古くから栄え、災害等に対する多くの記録を持っている。
 - ・過去を知ることができ、今後の防災対策に活用できる。
 - ・我が町の歴史を考える機会ができ、興味を覚える事がある。
 - ・地域の重要な財産であり、町の発展や過去の災害などを知るための重要な資料である。
- また、観光資源として地域の活性化に寄与する。
- ・過去から未来に引き継ぐことで、地域の歴史を認識することが出来る。・写真等で残すことで風景を共有できる。
 - ・地域経済が発展した経緯を形で残されている。地域共有の財産。
 - ・実際に目で見たり、直接触れたりする機会を得られ、地域に親しみを持つことができると考える。
 - ・東洋のマチュピチュと呼ばれて、別子銅山の繁栄していた時代の遺産である。今は観光化しているが明治・大正・昭和の日本国の銅製産を担っていた。
 - ・郷土に愛着が湧くこと。
 - ・地域のシンボルマーク、目標、集合場所等に利用が可能。
 - ・郷土の歴史と文化を学習するための教材として次世代に継承していく語り継ぎ、市民へ

の保護意識の醸成を図り、歴史や文化を保存する。

- ・金毘羅道の整備の一環でつくられたそうである。近隣の農家が煉瓦運びなどの労力奉仕によってつくられた。

- ・実際に目で見たり、直接触れたりする機会を得られ、地域に親しみを持つことができると考える。

- ・古い時代からその地域にある構造物には、住民が愛着を持っており、構造物に異常が発生した場合にすぐ連絡が入るなどの維持管理体制の充実が図れます。住民参加型の維持管理体制となります。

- ・歴史的構造物が地域にあることで、地域の歴史を知る手立てとなる。

- ・「地域活性化」「地域振興」等地域に対する経済効果

- ・弓削島定光寺観音堂（国の重要文化財）、岩城島祥雲寺観音堂（国の重要文化財）、歴史的建造物により地域（町）がおこった歴史があり、昔にどういった産業・農業・商屋等が興ったかを知ることが出来る。

- ・地域共通の財産として、一体感、連帯感を作る土壌となりうる。

- ・地域における歴史的環境保全運動を推進しながら地域特性のある建物と景観の保全。地域住民の誇りと個性ある地域づくりにつながる。

- ・その歴史的構造物をいつ誰がどのような目的で築造されたかを知ることによって地域の歴史的背景にふれることができる。

- ・故事の伝承。・先人の叡智による教訓。

- ・文化・観光の資産

- ・市民の歴史的認識、郷土愛の向上。街の成り立ちがわかる→街づくりに活かせる。観光経済の発展に寄与。

○全体のとりまとめ

地域のシンボル、観光資源、まちづくりとしての財産であるという意見が多い。

アンケート全体を通して

ME を行う上での、地域における想定災害と対策、社会資本の維持管理に対する回答者の意識・認識構造が明らかとなった。